

表2 平成17年10月2日現在のHIV感染者及びAIDS患者の国籍別、性別、感染経路別報告数の累計<sup>\*1</sup>

診断区分	感染経路	日本国籍			外国国籍			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
HIV感染者	異性間の性的接触	1,334	429	1,763	267	679	946	1,601	1,108	2,709
	同性間の性的接触 <sup>*2</sup>	2,764	1	2,765	192	0	192	2,956	1	2,957
	静注薬物濫用	17	1	18	17	2	19	34	3	37
	母子感染	13	7	20	3	7	10	16	14	30
	その他 <sup>*3</sup>	78	28	106	20	14	34	98	42	140
	不明	460	60	520	265	485	750	725	545	1,270
	HIV合計	4,666	526	5,192	764	1,187	1,951	5,430	1,713	7,143
AIDS患者	異性間の性的接触	1,059	123	1,182	193	141	334	1,252	264	1,516
	同性間の性的接触 <sup>*2</sup>	859	1	860	80	2	82	939	3	942
	静注薬物濫用	8	1	9	14	0	14	22	1	23
	母子感染	9	3	12	1	4	5	10	7	17
	その他 <sup>*3</sup>	59	12	71	16	8	24	75	20	95
	不明	514	51	565	260	116	376	774	167	941
	AIDS合計 <sup>*4</sup>	2,508	191	2,699	564	271	835	3,072	462	3,534
凝固因子製剤による感染者 <sup>*5</sup>	1,417	18	1,435	-	-	-	1,417	18	1,435	

\*1 平成16年までは確定値、平成17年は10月2日現在の速報値である。

\*2 両性間性的接触を含む。

\*3 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

\*4 平成11年3月31日までの病状変化によるAIDS患者報告数154件を含む。

\*5 「血液凝固異常症全国調査」による2004年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数

#### 死亡者報告数

感染症法施行後の任意報告数(平成11年4月1日～平成17年9月30日)	202名
エイズ予防法 <sup>*6</sup> に基づく法定報告数(平成元年2月17日～平成11年3月31日)	596名
凝固因子製剤による感染者の累積死亡者数 <sup>*7</sup>	579名

\*6 エイズ予防法第5条に基づき、血液凝固因子製剤による感染者を除く。

\*7 「血液凝固異常症全国調査」による2004年5月31日現在の報告数